

# 米エアリース買収完了

## 住商など4社 航空機事業を強化

住友商事と三井住友ファイナンス&リースの子会社で航空機リースを手がけるSMBCアビエーションキャピタル(SMBACA)など4社は、航空機リース大手の米エアリースの買収を完了した。エアリースはニューヨーク証券取引所を上場廃止となり、新社名「スミシヨアアリース」として事業を開始。同社の最高経営責任者(CEO)には、住友商事の航空事業開発部長やリース・事業

開発部長、SMBCA会長などを歴任した蛭田範幸氏が就いた。住友商事など4社は、2025年9月に約74億ドル(約1兆2000億円)を投じる今回の買収を公表した。



住友商事グループが保有・管理・発注するリース機の機体数は業界トップに迫る規模となる。スミシヨアアリースの強みを生かしつつ、航空機リース事業の成長と企業価値の向上につなげる。

長と企業価値向上を図る